

海外安全対策情報（平成26年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向

当地（バリ州）では、テロに関連した事案は発生していませんが、中部スラウェシ州、ジャカルタ周辺、東部ジャワ州など、インドネシア国内では、警察によるテロリストの摘発が度々行われているほか、ISIL支援者への監視や取締りが継続しています。当地においても、ISIL支持者等の流入に対して監視を強化する動きがみられます。

（2）麻薬・薬物犯罪の受刑者に対する死刑執行

1月18日、インドネシア当局は、麻薬・薬物犯罪で死刑を宣告されていた受刑者（外国人5人とインドネシア人1名）計6人に対して、刑を執行しました。また、引き続き、当地の刑務所に収監中であった豪州人2人を含む、同種の死刑囚への執行手続きを進めており、政府は、麻薬・薬物犯罪に対する厳しい方針を堅持しています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」といった盗難被害が引き続き数多く発生しています。

特に、深夜・早朝時間帯には、レギャン通り（爆弾テロ追悼モニュメント近く）のナイトクラブから徒歩でホテルへ帰る旅行者（グループ、カップル、男女を問わず）が、集団の犯人に取り囲まれて話をしている隙に、ひったくりやスリに遭う盗難被害が多数発生しました。

（2）邦人被害事案

邦人の事件・事故について当館へ報告された事案は以下のとおりです。

ア レギャン通りで、ひったくりやスリに遭った被害

| 日付 | 時間 | 被害種別 | 犯人 | 被害者・参考事項 |
|-------|---------|-------|---------|------------------|
| 1月 1日 | 午前2時30分 | スリ | 集団 | 女性グループ、ナイトクラブ帰り |
| 1月17日 | 午前4時00分 | 路上強盗 | 集団 | 男性2人、ナイトクラブ付近散策中 |
| 1月31日 | 午後9時30分 | スリ | 集団 | 女性2人、ナイトクラブ前路上 |
| 2月 7日 | 午後8時30分 | スリ | 集団 | 男女カップル、宿泊ホテル付近 |
| 3月12日 | 午前3時00分 | ひったくり | オートバイ乗車 | 男女カップル、ナイトクラブ帰り |
| 3月14日 | 午前4時00分 | スリ | 集団 | 女性グループ、ナイトクラブ帰り |

※ 当館で詳細が確認できた被害のみ記載

イ ひったくり被害（前記以外）

- ① 1月26日夜、デンパサール市内で、路上を歩いていた旅行者が、オートバイに乗車した犯人に鞆をひったくられた。
- ② 1月27日早朝、クタ地区で、オートバイ後部に同乗していた旅行者が、オートバイで追尾してきた犯人に鞆をひったくられた。
- ③ 2月24日夜、ヌサ・ドゥア地区で、ホテルへ戻る途中の旅行者が、オートバイに乗車した犯人に鞆をひったくられた。

ウ 空き巣被害

- ① 12月下旬から1月上旬にかけて、ウブド地区で、ロスメンに一時滞在中の在留邦人が、室内に保管してあった現金が盗まれた。
- ② 3月19日、クタ地区で、ロスメンに宿泊中の短期滞在者が、室内に置いてあった鞆内に入れてあった財布等が盗まれた。

エ その他被害

- ① 2月3日夕方、サヌール地区で、路地にオートバイを駐車していた旅行者が、オートバイ座席下収納へ入れてあった財布等が盗まれた。
- ② 3月17日、クタ地区で、旅行者グループが、ホテルに客室内のセーフティボックス（施錠忘れ）に入れてあった財布から、現金が抜き盗られた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロに関連した事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上